

- 2 酒井地区の整備が進む
- 3 体育館に冷暖房設備を設置
- 4-5 **特集** 公共交通が危ない  
10年後どうやって移動する?
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

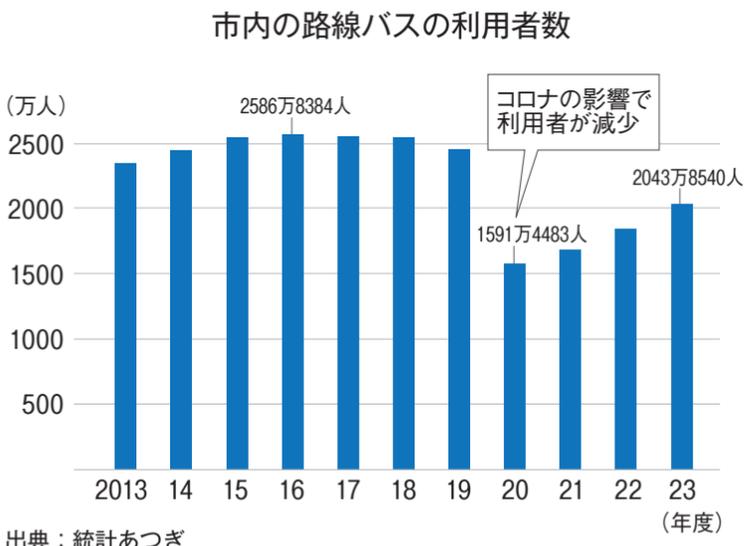
デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」 ネットは「マイ広報紙」



定期的な点検に加え不具合のあるバスも整備



## 今日も走る



《4・5面に関連記事あり》  
◎都市計画課 ☎25-2357

「車両、健康状態共に異常ありません」「速度、車間距離などに注意して走行してください」。市内の路線バスが発着する神奈川中央交通の厚木営業所と厚木北営業所。バスを安全に走らせるため、運転士や整備士、運転士への指導やダイヤ管理をする運行管理者など約300人が働いています。運行管理者との対面の点呼を終えた運転士はバスに乗り込み、エンジン音を響かせて、今日も待っている皆さんの元へと動き出します。

路線バスは長年、身近で安価に乗れる移動手段として親しまれてきました。しかし、コロナ禍をきっかけに利用者が減少（左欄参照）。運転士などのなり手不足や減便も進んでいます。

移動手段の一つである路線バス。これからも利用するため、できることを考えてみました。

安全に、いつまでも

Zoom Up

新しい産業拠点に

# 酒井地区の整備が進む

2019年から酒井地区でスタートした土地区画整理事業は、昨年11月に基盤整備工事を終え、進出予定の企業が建設工事に取りかかっています。市では新たな産業拠点の創出のため、事業を実施する土地区画整理組合を支援し、活力あるまちづくりを進めています。

土地区画整理事業は、道路や公園などの公共施設を整備し、形の整った土地を生み出すことで、土地利用を向上させる事業です。酒井地区では区域内の地権者が組合を設立し事業を進めています。市では、新たな産業拠点を創出するため組合を支援。2020年1月に始まった基盤整備工事は昨年11月に完了し、進出企業の建設工事が進んでいます。

## 充実した交通網を生かして

酒井地区は、三つの高速道路が近接し交通アクセスが良く、製造・物流業



進出企業の建設工事が進む酒井地区



### 土地区画整理がまちの力に

日本政策金融公庫  
厚木支店 支店長  
大東 寿夫 さん (56)

厚木は子育て支援が充実し、5つの大学や多数の企業があるなど、全世代の人たちが集う魅力があります。企業誘致の優遇策も充実しているため、業種に偏りなく企業が立地しているのが特徴です。土地区画整理に力を注ぎ企業が集まると、雇用が生まれる他、住む人や商業施設が増え、まちのにぎわいにつながります。土地区画整理や企業活動だけでなく、住みよいまちをつくることで、人と人がつながり、幸福度の高いまちを築くことができると思います。

などにとって恵まれた立地条件にあります。広い土地を整備することで多くの企業を誘致でき、雇用が生まれ、経済の活性化が期待されます。対象区域は、酒井・下津古久・愛甲地区にまたがる約27・6畝(左欄参照)。昨年11月までに、河川の氾濫を防ぐための雨水調整池をはじめ、道路などのインフラ施設を整備しました。現在、進出企業2社が建設工事を進めています。

酒井土地区画整理組合理事長の高橋功雄さん(72・酒井)は「企業の参入が地域の活性化につながる。通学路の歩道や公園など、皆さんに安心・安全に利用してもらえよう進めた。完成に向けて、地域の皆さんの生活に配慮しながら取り組みたい」と話します。

未来につながるまちづくり

昨年、14年から進められてきた森の里東地区の土地区画整理事業が完了しました。新たな町名を「森の里紅葉台」とし、現在9社が操業しています。市では他にも山際・長谷南部地区などの事業化に向けた地権者組織を支援しています。今後も、事業を推進することで産業用地を創出し、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

区画整理課 ☎25-2837



## 年度末・年度初め 日曜も窓口を臨時開庁

転入・転出などの手続きが集中する時期に、通常の土曜開庁に加え臨時で窓口を開設します。  
☎行政経営課 ☎225-2160

開設日時	開設窓口	取り扱い業務
3月29・30日 8時30分～12時	子育て給付課 ☎225-2230	医療証の発行、児童・児童扶養手当の申請など
	学務課 ☎225-2650	学区変更などによる、小・中学校の新入学手続き
3月30日・4月6日 8時30分～12時	市民課 ☎225-2110	住民異動届(転入・転出・転居など) / 印鑑登録 / 戸籍に関する届け出 / 住民票の写しなどの証明書・マイナンバーカード・課税証明書の交付
	国保年金課 ☎225-2120	国民健康保険の加入・脱退の届け出や給付申請、国民健康保険料の納付など(後期高齢者医療・国民年金を除く)

一人で悩まないで相談しよう

## 3月は自殺対策強化月間

進学や就職など生活環境が大きく変わる3月は、自殺者が増える傾向にあります。一人で悩まず、相談窓口や身近な人などに話してみませんか。

### いのちのサポート相談

電話や対面で、臨床心理士に相談できます。

【日時】3月3日 13～16時

19日 9～12時

【場所】保健福祉センター

【対象】市内在住の方

☎前日までに健康医療課へ。

### ゲートキーパー養成講座

支援の輪を広げるため、SOSのサインに気付き、声を掛け、話を聴く方法などが学べる市民団体向けの出前講座を開いています。

☎直接、健康医療課へ。

☎健康医療課 ☎225-2201



愛TV 3/1～



相談窓口一覧



放課後の部活動に取り組む厚木中学校の生徒たち



設置した冷暖房設備

## Q Zoom Up

# 安心・安全な学校生活を 体育館に冷暖房設備を設置

昨年10月から市立小・中学校の体育館に冷暖房施設の設置を進めています。3年間で全校に設置し、教育環境の充実や災害時の避難所の機能強化につなげていきます。

### 熱中症を防止

夏の猛暑時などでも子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるよう、2013年度から市立小・中学校の普通教室に冷暖房を設置しています。現在、家庭科室や理科室などの特別教室への設置を進める中、昨年10月からは、体育館への設置も始めました。

今年度に設置するのは、小学校3校と中学校11校です。ガスや電気を熱源とした冷暖房設備を3年間かけて全校に取り付けていきます(左欄参照)。整備は、体育館での授業に加えて、夏季休業期間中にも部活動や大会などでの使用が多い中学校を優先しています。建物の構造上、熱がこもり室温が上昇しやすい体育館でも適切な温度管理ができることにより、熱中症のリスク軽減や子どもたちの活動のサポートが期待できます。

厚木中学校の小野亮平教諭(39)は「最近では夏の暑さが厳しく、できるだけ昼間の気温が上がる時間帯の利用を避けたり、小まめに水分をとらせたりしていたが、熱中症にならないか心配

### 冷暖房設備設置状況 (2024年9月1日時点)

教室の種類	教室数	設置教室数	設置率(%)
小学校	普通教室	457	100
	特別教室	364	279
中学校	普通教室	213	100
	特別教室	295	122

### 体育館への設置スケジュール

- 2024年度 (小学校3校・中学校11校)  
厚木・南毛利・依知小学校  
厚木・荻野・睦合・小鮎・玉川・南毛利・東名・藤塚・森の里・睦合東・相川中学校
- 25年度 (小学校12校・中学校2校)  
依知南・北・三田・清水・厚木第二・緑ヶ丘・戸室・愛甲・妻田・毛利台・戸田・上依知小学校  
依知・林中学校
- 26年度 (小学校8校)  
荻野・小鮎・玉川・相川・鳶尾・上荻野・飯山・森の里小学校

※体育館の建て替え工事を予定する学校は移動式冷暖房装置を置き、改修時に設備を設置

施設整備で学びを後押し

市では、他にも安全で快適な教育環境を整えるため、校舎のトイレ改修を21年に完了。経年劣化した受変電設備・受水槽などの付帯設備をはじめ、外壁・屋上防水、グラウンドなど、施設の改修を実施しています。

今後、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた学校の省エネルギー化として、校内の照明を環境に優しいLED器具へ更新するなど、計画的な施設整備を進め、子どもたちの学びを支えていきます。

☎学校施設課 ☎25-2601

### 利用自治会を募集

## 自治会の 回覧板を電子化

自治会の負担軽減やデジタル化推進のため、自治会向けSNSアプリ「いちのいち」を6月に導入します。スマートフォンなどで回覧物が見られます。

☎市民協働推進課 ☎225-2101

#### ■自治会SNSアプリ「いちのいち」とは

- ・自治会の回覧板の内容をスマートフォンなどで見られる
- ・自治会だけでなく市からの回覧物も一斉配信できる
- ・アプリ内に回覧情報が残るため、イベントの日時などを再確認できる

#### ■導入の効果

- ・高齢者や共働き世帯などが増える中、自治会活動の負担軽減につながり、実施したいイベントなどの活動に注力できる

《利用開始》6月～

《費用》無料

☎利用を希望する自治会は、電話またはEメールで市民協働推進課 ☎2800@city.atsumi.kanagawa.jpへ。



配信イメージ



詳細はこちら

マイナンバーカードで待ち時間かからず

## コンビニで 証明書を取得

マイナンバーカードを使い、コンビニエンスストアで住民票の写しや印鑑登録証明書などの証明書が発行できます。

#### 《取得できる証明書》

- ①住民票の写し
- ②印鑑登録証明書
- ③戸籍謄本・抄本
- ④付票の写し
- ⑤市・県民税(課税・非課税)証明書

※①②⑤は市内在住の方のみ取得可

《費用》300円(③は450円)

《時間》6時30分～23時(③④は平日9時～19時30分)

※12月29日～1月3日とメンテナンス日を除く

《場所》マルチコピー機があるコンビニエンスストア



詳細はこちら

#### 3月31日で市役所内の証明書自動交付機のサービス終了

本庁舎1階に設置している証明書自動交付機のサービスを終了します。4月から、コンビニで取得できる「コンビニ交付サービス」を利用してください。

☎市民課 ☎225-2110 (☎は市民税課 ☎225-2012)

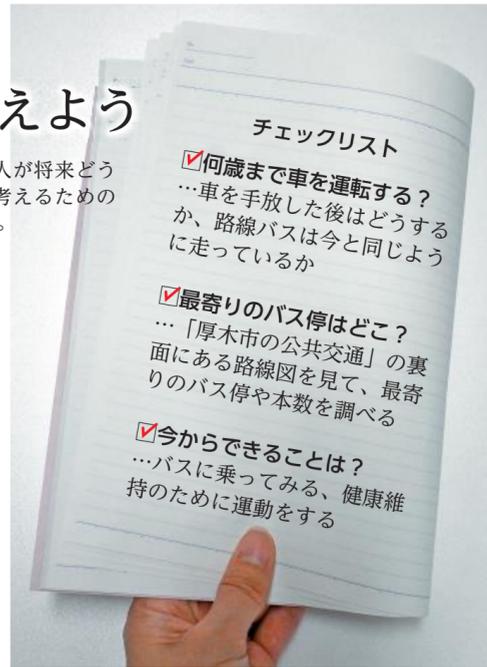


愛TV 3/1～



## バスに乗る人も乗らない人も 自分の交通手段を考えよう

今バスを使っているかに関わらず、一人一人が将来どうやって移動するかを考えることが大切です。考えるためのチェックリストと、市の取り組みを紹介します。



### 「今は車に乗っているけれど、高齢になって車を手放したらバスに乗りたい」

車を使いながら、月に1回、週に1回でもバスを利用してみましょう。市では高齢者のバス・タクシー利用を後押しするため、助成やチケットの配布をしています。対象などの詳細は市HPへ。



### ■かなちゃん手形購入費助成

1回100円で神奈中バスに乗れる割引券「かなちゃん手形」の購入費用を助成します。

《助成額》1年券=7800円  
(自己負担額3000円)

### ■高齢者タクシー助成

市が協定しているタクシー事業者で使える利用券を配布します。

《助成額》400円券×48枚

◎福祉総合支援課 ☎225-2220

### 「路線バスに乗ったことがないのでやり方が分からない」

パンフレット「厚木市の公共交通」では、市内の全ての路線図や、バスの乗り方、支払い方法などを紹介しています。市HPから見られます。



### 「バス停が遠くて困っている人が周りに多い」「コミュニティ交通を検討してみたい」

コミュニティ交通は、バス停から距離がある交通不便地域を運行するバスです。市内では現在二つの地域に導入しています。

森の里地域、鳶尾・まつかげ台・みはる野地域で運行

運営協議会などが主体となって立ち上げ、ルートや本数決め、運転なども地域で運営しています。

導入方法など詳しくは都市計画課へ。



## 特集 公共交通が危ない

# 10年後、どうやって移動する？

駅へ、職場へ、買い物へ、皆さんは普段どうやって移動していますか。生活に合った交通手段を選べるのが一番ですが、10年、20年後、さらにその先、今と同じ方法が続けられるでしょうか。生活の変化に合わせて交通手段を選べるよう、将来自分がどうやって移動するのか、一度想像してみてください。  
◎都市計画課 ☎225-2357



### 路線バスがあるのは、当たり前じゃない

路線バスの利用者は減少傾向にあり、運転士のなり手も減っています。それに合わせて運行本数も減りつつあります。必要な時に使えるようバスを維持していくためには、皆さんの積極的な利用が必要です。

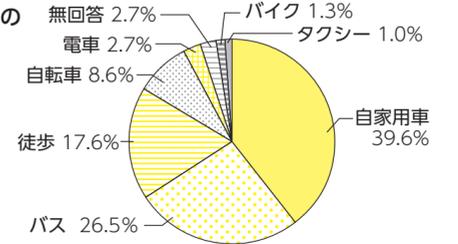


### ■厚木のバス路線

本厚木駅を中心に、放射状にバス路線が広がり、路線に沿って住宅地が形成されています。



### ■本厚木駅周辺への交通手段



出典：2023年  
市民意識調査  
(回答数1413人)

## 将来を見据えて 明日の行動を変える

市地域公共交通会議委員長  
東海大学建築都市学部土木工学科  
梶田 佳孝 教授 (54)

バスの減便や廃線は全国的な課題で、県内でも同様です。話を聞くと、多くの方が将来の移動方法に不安を抱えています。公共交通を維持するためには、普段バスを利用していない方も週に1回、月に1回でもバスを利用するように生活のスタイルを変えていくことがとても大事です。

公共交通は防災と同じで、日頃から考えて備えることや、地域で協力し合うことが大切です。近所の方と交通について話してみることはいいきっかけになります。また、普段バスを使わない方は実際に乗ってみる体験も大事です。意外と便利に感じるかもしれません。

自動運転などの新しい技術の導入にはまだまだ時間がかかるため、すぐに頼れる特効薬とはなっていません。今ある公共交通を守ることが最優先です。行政や企業が何とかすることだと思わず、「明日からバスはなくなります」と言われてから困ることのないように、一人一人が能動的に考えて事前に備えられると良いです。

あなたの運転、人々の未来へつなぎませんか

## 路線バス・タクシー 運転士募集

公共交通を維持するためには運転士の存在が欠かせません。皆さんの暮らしを支えるバス・タクシーの運転士になりませんか。詳細は各事業者にお問い合わせください。

《バス》大型自動車第二種運転免許を持っていない方も応募できます。

◎神奈川中央交通 ☎0463-22-8811

《タクシー》◎神奈中タクシー厚木 ☎046-250-8685

◎東横交通 ☎046-221-3218

この活動は厚木・伊勢原・秦野市、愛川町、清川村と合同で実施しています

### 便利な機能を使って バスを乗りこなす

■主にバスを利用  
住まい：飯山  
星野 咲子さん (49)



**現在** 車は家族と共同で使っているのですが、主にバスを利用。時間通りに来ないこともあるが、バスの現在地を調べられる機能などを活用して乗っている。

**コメント** バス停から家までは歩いて5分ほどですが、急な坂なので、高齢になるとバスでの移動は大変だと思います。両親は車と併用して、助成のチケットを使いタクシーも利用しています。

学生の頃からバスを利用していますが、本数が減ったと感じています。路線バスがあり続けられるよう、これからも利用していきたいと思っていますが、新しい技術にも期待しています。自動運転のバスやタクシー、そして環境にもっと優しい公共交通が走るようになるのいいなと思います。多くの人がもっと便利にバスに乗れるよう、現在地が分かる機能などを知ってほしいです。



詳細は神奈中バスのHPへ

### 車を手放した後の 移動の不安に気付けた

■主にバスを利用  
住まい：森の里  
柏木 康男さん (65)



**現在** 通勤には主にバスを使い、お出かけや買い物には車を使用。近年バスの本数が減り、現在は1時間に1本。

**コメント** バスに乗っている間は自由に過ごせて、駐車場を探す手間もなく楽です。私が利用しているバスも減便しましたが、1回の乗車人数は変わっていないので、使う人が減っているのを感じます。

事故などを起こす不安から、車はなるべく早く手放したいと考えているので、将来もバスで移動したいです。駅以外の場所へ行く際の不便さや減便、値上げも心配ですが、それでも自分が運転せずに移動できる公共交通を頼りにしています。

今回皆さんと話してみて、選べる交通手段が車以外にもあるのか、不安な点が多いことに気付きました。自分の移動方法を真剣に考えるきっかけになりました。

### 運転が好きだからこそ よく考えて備えたい

■主に自転車、車を利用  
住まい：岡田  
清水 ゆかりさん (54)



**現在** 駅へは主に自転車を利用。運転が好きで車や大型バイクにも乗り、休日は運転を楽しむために出かけることも。

**コメント** 運転が好きなので、車に乗れなくなったらどうするかを普段から考えていて、自分にとって深刻な問題です。

駅までは徒歩20分ほどで、荷物があると歩くのは辛い距離です。近所には自宅がバス通りから遠い方も多く、みんなが抱えている問題だと思うので、地域全体で考えていけたらいいなと思います。

移動に困っている高齢の方に自分ができることはないかなと思っていたので、近所同士で移動を助け合うシステムなどができれば協力したいです。公的なサービスの整備ももちろんですが、自分たちでできることを協力し合えるようになれば、不安も少なくなるのではないのでしょうか。

### 市民リポーターが 考えました

## 私の交通手段

将来の交通手段を考えることは、今の生活の見直しにもつながります。市民リポーター3人が集まり、それぞれ考えてみました。



座談会の様子

### 話し合ったテーマ

- ①今使っている交通手段
- ②住んでいる地域の特徴
- ③将来、どうやって移動する？
- ④今からできること

### 節目の一日を市民の皆さんと共に

#### 2月1日に厚木市制70周年記念式典を開催



金澤さんの席上揮毫に見入る参加者たち

文化会館で市制70周年記念式典を開催しました。式典には、市政や教育の振興、スポーツ・文化の向上に寄与し、表彰を受ける方など約1200人が出席。記念映像の上映や書家・金澤翔子さんによる席上揮毫などを楽しみ、節目を祝いました。式典は、市の歩みを振り返り、飛躍を誓うために開催。厚木の70年をたどる映像を上映した後、金澤さんが「飛翔」の二文字を力強く揮毫しました。最後には、厚木中学校吹奏楽部の演奏が披露され、会場は大きな拍手に包まれました。特別表彰を受けた吉田文雄さん（81・飯山南）は「これからも広報あつぎの連載を通して、自然の大切さを伝えていきたい」と笑顔を見せました。

### 6市町村が広域課題や取り組みを協議

#### 県央相模川サミットを開催

相模川周辺の自治体による「県央相模川サミット」が、海老名市役所で開かれました。厚木市の他、相模原・海老名・座間市、愛川町、清川村の首長に加え、オプザーバーとして県の橋本副知事が出席し意見交換しました。サミットは、河川の保全活用や災害・環境・交通対策などの共通課題を協議するため、2009年度に始まり16回目。これまで、合同クリーンキャンペーンや水害対策などに取り組んできました。この日は、水の事故防止に向けた共同メッセージの作成をはじめ、リニア中央新幹線神奈川県駅設置などに伴う橋本駅周辺のまちづくり、防災対策・カーボンニュートラルの推進を議題に意見を交わしました。



サミットでは山口市長が会長を務める



### 市とJAが有害鳥獣対策の一環で連携

#### イノシシ肉と葉ニンニクを使ったソーセージを商品化

農作物を荒らす有害鳥獣として捕獲されたイノシシを食材として活用するため、市とJAあつぎが共同でソーセージを開発しました。JAが鳥獣除けとして栽培を始めた葉ニンニクと合わせた野性味あふれる味が特徴で、市内の農産物直売所「夢未市」などで販売されます。市役所に商品化の報告に訪れた夢未市の清田陽平店長は「葉ニンニクを加えたことでうまみが増した。ぜひご賞味いただきたい」と報告。試食した山口市長は「ジューシーで臭みもなくおいしいので、多くの皆さんに食べてもらいたい」と話しました。市とJAは今後、シカ肉の食材利用も検討するなど、鳥獣被害対策と地域の特産品作りを進めていきます。



商品を市長に紹介した清田店長(左)

### 幅広い年代のランナーがたすきをつなぐ

#### あつぎ駅伝競走大会に56チームが出場

市制施行を記念し始まった「あつぎ駅伝競走大会」を、荻野運動公園を発着点に開催しました。市内外から56チームが参加し、懸命にたすきをつなぎました。71回目を迎えた今回は、地区対抗の部22チーム、女子の部1チーム、高校の部20チーム、一般の部13チームが参加。市内各所の中継所でたすきをつなぎました。沿道では、市民らが選手に拍手と声援を送る姿が見られました。地区対抗の部で優勝のゴールテープを切った南毛利Aチームの矢口陽太さん（20・長谷）は「たすきをもらった時点で後ろと2分ほど離れていたのですが、自分の記録を意識して走った。風が強かったけれど、沿道の声援もあり走り切れた」と笑顔を見せました。



先頭でゴールし笑顔を見せる矢口さん



厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力を、毎月順番に紹介します。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、ニュースサイトでも紹介します。

#### 第10回 花めぐりと文化財探訪

表丹沢の伊勢原には、神奈川屈指の観光地の大山阿夫利神社の他にも、歴史を誇る神社仏閣が点在しています。春の桜のシーズンには、花めぐりを兼ねた文化財の探訪がおすすめ。タイムトラベル気分の散策やハイキングはいかがでしょう。



大山山麓の「大山桜」

ニュースサイトで詳しく紹介しています▶

商業観光課 ☎225-2820



初春のすがすがしい空気に包まれた2月1日、厚木市は市制施行から70周年を迎えました。文化会館で開催した記念式典では、市の発展に功績を残し表彰を受けられる方々や友好都市・近隣自治体の首長の皆様など約1200人にお集まりいただき、共に記念すべき節目の日を祝うことができました。厚木市が1955年に県下13番目の市として産声を上げたときの人口は、約3万1千人。今では22万を越



多くの皆様と市の新たな門出を祝福

える人が暮らし、五つの大学や世界に名高い企業など約9400の事業所が立地する活気あふれるまちへと成長しました。一方で、丹沢・大山や相模川、あつぎ温泉郷をはじめとする豊かな自然の恵みは変わらぬ市の魅力として在り続け、多くの人を引き付けています。これもひとえに、歴史の荒波を乗り越えてこられた先人の皆様の努力のたまものであり、その功績に敬意を表するとともに、重いたすきを受け取った市長として志を継ぎ、未来へ向けて力強く進んでいく所存です。今年1年、市民の皆様には記念事業などを通じてあつぎ愛を深めていただきたいと願っています。私も「あつぎプライド」を胸に、より誇れるまちをつくれるよう勇往邁進してまいります。

# タウンガイド

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 🗄=講座予約システム (70th)=市制70周年記念事業  
 愛TV/3/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。

**「朝の大山」**  
 #2月5日撮影  
 #雪化粧  
 #青空  
 #niceatsugi  
 市公式Instagram  
 グラムで公開中



本厚木ミロードとの  
文化芸術連携協定事業  
「あつぎにぎわい座」

## 桃瀬茉莉トリオ JAZZ LIVE

プロのミュージシャンによる  
生演奏が楽しめます。

**日時** 3月20日  
 ①11時~②14時~  
 (各回45分程度)  
**出演** 桃瀬茉莉さん(ピアノ)  
 工藤精さん(ベース)  
 木村章子さん(ヴィオラ)  
**場所** 本厚木ミロード  
 「ミロにわ」

**費用** 無料  
 ☑不要。

☎文化魅力創造課 ☎225-2508

## 70周年記念ラッピングバス運行期間延長



市制70周年を祝うために制作したラッピングバスの運行期間を延長します。

☎企画政策課 ☎225-2450

《期間》3月31日まで  
 ※4月以降の運行は議会の議決後に確定

### 写真に撮ってSNSに投稿を

ラッピングバスを見つけたら、写真を撮ってハッシュタグ(#niceatsugi)を付けてSNSに投稿し、共有してみませんか。

詳細はこちら▶



## トライアル期間開始 あつぎ健康相談ダイヤル24 新サービス こどもの症状・受診の目安ナビ

インターネットで子どもの症状を入力すると受診の目安がわかります。急な体調不良やけがで病院に行くか迷った時に活用してください。

☎健康医療課 ☎225-2174

**期間** 3月1日~8月31日  
**対象** 15歳以下  
**費用** 無料  
 ☑不要。詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら



**使い方**

①子どもの情報や症状を入力

②受診の目安を4段階で表示(家で様子見、すぐ受診など)

③看護師や医師に相談できる電話番号などを表示

## 子育て支援センター絵本の読み聞かせLIVE

3月29日、①10時~②0~2歳向け③11時~④3歳以上向け(各回25分)。あつぎ市民交流プラザ。アミューあつぎ10周年を記念した「聞かせ屋。けいたろう」さんによる絵本の読み聞かせ。各回60人(保護者同伴)。無料。☑当日9時30分から整理券を配布。☎子育て支援センター ☎225-2922。



《プロフィール》絵本の文章作家・翻訳者・講演家。保育士で二児の父でもある。夜の路上で大人向けに絵本を読み始め、絵本読み聞かせ・講座、保育者研修会で全国を駆け巡る

## 天の川おはなし会inコスモシアター

3月27日、13時30分~14時10分。神奈川工科大学厚木市子ども科学館。プラネタリウムで絵本などを読み聞かせ。4歳以上90人(幼児は保護者同伴)。無料。☑不要。先着順。☎中央図書館 ☎223-0033。



## こどもえいがかい

3月28日、①11時~11時30分②14

時~14時50分。中央図書館。子ども向けの映画上映会。①かこさとしおはなしのビデオ5「どろぼうがっこう」、ぼくは王さま たまご とめいたんてい「王さまめいたんてい」②世界名作アニメーション4「裸の王様」。3歳以上各回50人(幼児は保護者同伴)。無料。☑不要。先着順。☎中央図書館 ☎223-0033。

## 原動機付自転車などの廃車・変更届け出はお早めに

軽自動車税(種別割)は、4月1日に原動機付自転車、軽自動車などを所有または使用する方に課税されます。盗難や譲渡などで所有していない場合は、3月中に手続きをしてください。

《手続き場所》原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊自動車=市民税課 ☎225-2012、軽二輪車(125cc超~250cc以下)・二輪の小型自動車(250cc超)=相模自動車検査登録事務所 ☎050-5540-2037、三輪・四輪以上の軽自動車(660cc以下)=軽自動車検査協会神奈川事務所相模支所 ☎050-3816-3120。☎市民税課 ☎225-2012。

## みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》  
**市立保健福祉センター条例の改正**  
**《閲覧期間》** 3月1~31日 **《閲覧場所》** 保健福祉センター、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、老人福祉センター寿荘、市HP **《応募方法》** 閲覧場所にある用紙に掲載。☎健康医療課 ☎225-2525

厚木市 市民参加

検索

**ホット** インターネットモニターからの意見を紹介

**いメール** Hot E-Mail

インターネットモニター募集中  
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

2月1日号「広報あつぎ」を読んで  
 ◆厚木マークの紙吹雪が舞う写真がおしゃれだと思った/30代女性 ◆防犯カメラが犯罪の抑止力になり、安心した生活につながらうれしい/40代女性 ◆世代の違う6人のさまざまな思いが聞けて良かった/70代男性 ◆老若男女に住みやすい街だとひしひし伝わってきた/40代女性 ◆70周年記念作品の展示や映画のイベントが楽しみ/70代男性 ◆市制70周年の盛り上がりを感じた。今後の厚木に期待したい/50代男性

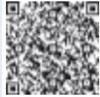
**編集後記** 学生の頃、毎日バスを使っていた。本を読んだり眠ったり、自由に過ごせるので乗っている時間が好きでした。今は自家用車中心の生活をしていますが、運転できなくなったらどうするかは、いつか考えないといけない問題だと思っています。取材の中で梶田先生の「まだ間に合ううちに考えてほしい」という言葉を聞き、先延ばしせずに向き合うことから始めないといけないと感じました/前場

満開の桜と春を楽しむ

# あつぎ飯山桜まつり

満開の桜の下、見て食べて楽しめるイベントです。厚木の春を感じてみませんか。

☎商業観光課 ☎225-2820



詳細はこちら

🌸 日時 3月29・30日 11~20時

🌸 場所 飯山白山森林公園 桜の広場

## 🌸 メインステージ・29日

- 11時~ 小鮎中学校吹奏楽部演奏
- 11時15分~ オープニングセレモニー
- 12時30分~ ダンスパフォーマンスステージ
- 15時15分~ 紙芝居
- 16時15分~ 相模里神楽垣澤社中
- 17時~ 飯山白龍太鼓・白龍の舞
- 《同時開催》
- 11~15時 スポーツ体験(モルック)

## 🌸 30日

- 12時~ 昭和アイドル歌謡ショー
- 13時30分~ パレード  
(さくら輿・白龍の舞・飯山花音頭・餅まき)
- 16時~ 飯山白龍太鼓・白龍の舞
- 《同時開催》
- 11~15時 金剛寺文化財一般公開

🌸 会場内ではお茶処、大道芸も実施



### 🌸 飯山白龍太鼓 白龍の舞

雨乞いをする村人と天を駆け巡る白龍をイメージし、激しく太鼓を打ち鳴らし白龍が舞います。



### 🌸 ダンスパフォーマンス ステージ

子どもから大人まで多彩なダンスが楽しめます。

🌸 さくら輿  
女性が担ぐみこしです。



### 🌸 飯山花音頭

あつぎ飯山桜まつりに欠かせない花音頭。会場を華やかに盛り上げます。



### 🌸 桜のライトアップ

祭り期間中、会場に咲く桜をライトで照らします。昼間とは違った幻想的な雰囲気が楽しめます。

《点灯時間》18~20時

## 自然歳時記

● マヒワ ●  
アトリ科

体長12cmほどのマヒワは、冬鳥として渡来し低山地でも見られる。オオバヤシャブシやヤマハンノキの球果をよく食べる全体が明るい黄緑色の小さな鳥／上依知の段丘面の雑木林で見つけた。 写真・文／吉田文雄



段丘面に生えるオオバヤシャブシの実を食べている鳥がいた。気付かれないようにそっと近付くと、カワラヒワが群れてその小さな実をおいそうについばんでいた。

ポリポリと食べる音に交じって「チューン、チューン」と澄み切ったか細い声も聞こえてくる。声

のする辺りを双眼鏡でよく見ると、一回り小さく明るい黄緑色が目立つマヒワが紛れ、一心不乱に球果の中の小さな実を食べていた。

最近、鳥たちが少なくなったとよく聞く。鳥たちのすむ環境を大切にすることは、人間にとっても住みよい環境であると肝に銘じたい。

厚木市の人口  
(2月1日現在)

🏠 世帯数 10万6214世帯 (前月比104世帯減)

👤 人口 22万3212人 (前月比332人減) 男11万5025人・女10万8187人